

株主・投資家の皆様へ

yokowo

第**71**期 株主通信

2008.4.1~2009.3.31

株式会社 **ヨコワ**

株主の皆様へ

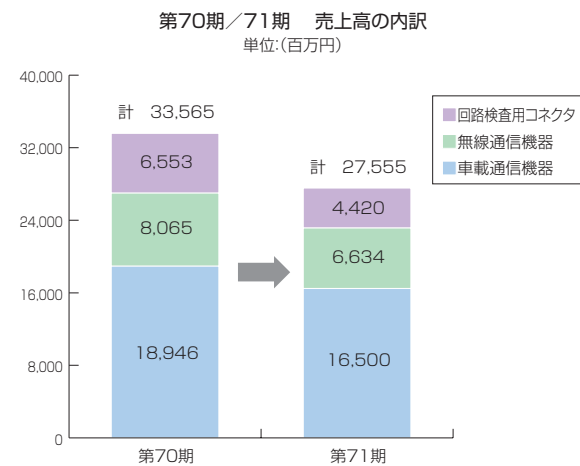
株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第71期（2008年4月1日から2009年3月31日まで）の株主通信をお届けし、当社の業績と今後の施策につきまして報告させていただきます。

当期の市場環境は、金融危機の影響が自動車や半導体、携帯電話関連を含む実体経済に波及し、関連する各企業は世界的な規模での急激な市場縮小というかつてない事態への対応を迫られました。

当社グループにおきましても、とくに年度後半より売上高がかつてない幅で減少したため、抜本的な固定費の削減が急務となり、「全社収益構造革新計画」を策定し、その大半の施策を当期中に実行いたしました。急速な



経営環境の変化に追いつかず、当期の連結売上高は275億5千5百万円（前期比△17.9%）とかつてない大幅な減少となり、損益につきましても連結営業損失11億8千8百万円、連結経常損失11億2千5百万円と大幅な赤字となりました。

最終損益につきましては、「全社収益構造革新計画」の実施に伴う事業構造改善費用、有形・無形固定資産除却損、投資有価証券評価損等の特別損失計上ならびに繰延税金資産・負債の取崩しにより、連結当期純損失36億4百万円と、多額の損失を計上することとなりました。

当期の期末配当につきましては、当期の業績、内部留保の充実および財務安定性確保の必要性を総合的に勘案いたしまして、誠に遺憾ながら、前期の期末配当より1株当たり6円減配となる1株当たり3円（中間配当9円とあわせて年12円）とさせていただきます。

以下、当社の事業別の概況と今後の具体的な施策についてご説明いたします。

車載通信機器事業においては昨秋以降、それまで比較的堅調であった主力製品の受注が急減し、第4四半期の連結売上高は第1四半期比約46%減となりました。その結果、当分野の連結売上高は165億円（前期比△12.9%）と大幅な減少となりました。

今後は、当期に引き続いて国内外拠点の機能統合など固定費構造の抜本的スリム化を推進しつつ、ハイブリッド車・電気自動車など環境対応車関連への生産・販売シフトに重点を置いてまいります。

回路検査用コネクタ事業は、昨年6月に半導体前工程検査機器事業を譲受け、事業領域の拡大に向けて踏み出しましたが、昨秋以降受注がさらに一段減少し、第4四半期における売上高が第1四半期比約58%減と急減した結果、当分野における連結売上高は44億2千万円（前期比△32.6%）となりました。

今後は、売上高規模に対応した固定費の削減による事業収益確保を最重要課題として取り組むとともに、将来の景気回復時に向けた製品開発・拡販活動を推進してまいります。

無線通信機器事業は、スマートフォンなど携帯端末機・POS端末機メーカー様への拡販や戦略製品の開発による一定の効果に加え、医療用部品関連の売上高が大きく伸長しました。しかし主力である携帯電話市場の世界的な需要減退や顧客業績不振などにより、当分野の連結売上高は66億3千4百万円（前期比△17.7%）となりました。

今後は、引き続き携帯電話以外の領域への拡大による本格的な事業構造転換に取り組むとともに、携帯電話市場においても海外大手顧客との取引拡大を図ってまいります。とくに医療用部品関連につきましては、戦略製品の市場投入、国内外の大手カテゴリーメーカー様への拡販活動により事業規模の拡大を目指してまいります。

世界経済は依然として低迷が続いており、当社グループといたしましても現下の厳しい経営環境が継続すると



代表取締役 兼 執行役員社長

徳間 孝之

考えられることから、当面の最重要課題を「『全社収益構造革新計画』の迅速・着実な実行による早期の単月黒字化」と定め、平成21年4月より執行役員体制のスリム化および希望退職の募集を含む第二次計画をスタートさせました。

第二次計画の実施に伴う事業構造改善費用は平成21年3月期において計上済みですが、一連の施策が終了する第3四半期以降は単月決算ベースでの黒字化を見込んでおり、再度の成長軌道に乗せるべく全役職員が一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の事業とその将来性におかれましては、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月

代表取締役 兼 執行役員社長

徳間 孝之

連結財務諸表

■連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第71期 (2009年3月31日現在)	第70期 (2008年3月31日現在)	科目	第71期 (2009年3月31日現在)	第70期 (2008年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	13,146	15,240	流動負債	5,052	7,101
現金及び預金	5,005	2,784	支払手形及び買掛金	2,136	4,266
受取手形及び売掛金	4,585	7,963	短期借入金	1,100	1,300
たな卸資産	2,593	3,383	その他	1,816	1,534
その他	961	1,109	固定負債	2,592	640
固定資産	8,645	10,873	長期借入金	1,900	-
有形固定資産	6,374	7,255	退職給付引当金	109	189
建物及び構築物	1,987	2,096	その他	583	450
機械装置及び運搬具	2,353	2,710	負債合計	7,645	7,741
工具、器具及び備品	1,160	1,630	純資産の部		
土地	808	808	株主資本	14,727	18,685
その他	64	8	資本金	3,996	3,996
無形固定資産	377	339	資本剰余金	3,981	3,981
投資その他の資産	1,893	3,279	利益剰余金	7,740	11,697
投資有価証券	1,428	2,295	自己株式	△ 990	△ 989
繰延税金資産	124	283	評価・換算差額等	△ 580	△ 312
その他	340	700	純資産合計	14,147	18,373
資産合計	21,792	26,114	負債純資産合計	21,792	26,114

■コメント

世界的な金融危機のもと、手元資金の十分かつ安定的な確保を図る趣旨から、当連結会計年度は長期の資金調達ならびに貸出コミットメント契約の拡充に努めました。このため当期において長期借入金19億円を調達したほか、貸出コミットメント契約を45億円（前期末比27億円増）に拡大しております。

■連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	第71期 (2008年4月1日から 2009年3月31日まで)	第70期 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)
売上高	27,555	33,565
売上原価	22,300	25,311
売上総利益	5,255	8,254
販売費及び一般管理費	6,444	6,768
営業利益 (△営業損失)	△ 1,188	1,485
営業外収益	144	157
営業外費用	81	640
経常利益 (△経常損失)	△ 1,125	1,002
特別利益	32	279
特別損失	2,183	279
税金等調整前当期純利益 (△純損失)	△ 3,275	1,002
法人税、住民税及び事業税	220	514
法人税等還付税額	△ 98	△ 41
過年度法人税等	32	51
法人税等調整額	174	88
当期純利益 (△純損失)	△ 3,604	389

■連結株主資本等変動計算書

第71期 (2008年4月1日から2009年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
2008年3月31日 残高	3,996	3,981	11,697	△ 989	18,685	△ 177	△ 135	△ 312	18,373
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減			7		7				7
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 360		△ 360				△ 360
当期純損失 (△)			△ 3,604		△ 3,604				△ 3,604
自己株式の取得				△ 1	△ 1				△ 1
自己株式の処分			△ 0	0	0				0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)					-	△ 7	△ 259	△ 267	△ 267
連結会計年度中の変動額合計	-	-	△ 3,964	△ 0	△ 3,965	△ 7	△ 259	△ 267	△ 4,233
2009年3月31日 残高	3,996	3,981	7,740	△ 990	14,727	△ 184	△ 395	△ 580	14,147

会社の概要 (2009年3月31日現在)

■商号	株式会社ヨコオ
■本社所在地	〒114-8515 東京都北区滝野川七丁目5番11号 電話：03-3916-3111
■創立	1922 (大正11) 年9月1日
■設立	1951 (昭和26) 年6月14日
■資本金	39億9,626万円
■従業員数	544名 (単体) 3,345名 (連結)
■事業内容	車載通信機器分野 コネクタ分野 無線通信機器分野 マイクロウェーブ通信機器分野 セラミックス分野 医療機器分野

役員 (2009年6月26日現在)

代表取締役会長	徳間 順一	執行役員社長	徳間 孝之
取締役副会長	柳沢 和介	執行役員	深川 浩一
代表取締役	徳間 孝之	執行役員	横尾 健司
常勤監査役	真下 泰史	執行役員	須賀 泉
監査役(*)	小川 榮吉	執行役員	皆川 清和
監査役(*)	古田 徹	執行役員	西迫 義人
監査役(*)	川島 正孝	執行役員	藤田 豊
		執行役員	黒 肱 正彦

(*) 印は社外監査役です。

株式の状況 (2009年3月31日現在)

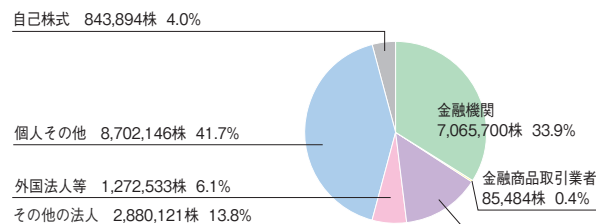
■発行可能株式総数	40,000,000株
■発行済株式の総数	20,849,878株
(自己株式843,894株を含む)	
■株主数	6,354名
■大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,342千株	6.7%
株式会社群馬銀行	990	4.9
ルガスタル・アンド・カンパニー・インターナショナル・ビルダー	802	4.0
資産管理サービス信託銀行株式会社	750	3.7
三菱UFJ信託銀行株式会社	595	2.9
ヨコオ取引先持株会	545	2.7
ヨコオ自社株投資会	505	2.5
ニチコン株式会社	454	2.2
第一生命保険相互会社	451	2.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	446	2.2

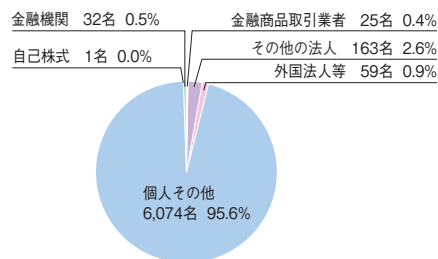
※持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
 ※出資比率は自己株式を除いて算出し、小数点第2位以下を切り捨てて表示しています。
 ※上記以外に、自己株式が843千株あります。

株式分布

所有者別株式数分布状況



所有者別株主分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.yokowo.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様へ

第71期定時株主総会決議ご通知

拝啓 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成21年6月26日開催の当社第71期定時株主総会において、報告ならびに決議を下記のとおり行いましたので、ご通知申し上げます。

敬具

記

<報告事項>

1. 第71期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記の内容および監査結果を報告いたしました。
2. 第71期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

<決議事項>

第1号議案 剰余金処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金は1株当たり3円（既にお支払いしております中間配当金9円を含め、年12円）と決定いたしました。

第2号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第3号議案 取締役3名選任の件

本件は、原案どおり3名が選任され、それぞれ就任いたしました。

第4号議案 監査役1名選任の件

本件は、原案どおり選任され、就任いたしました。

以 上

なお、本総会終了後の取締役会において、以下のとおり選定され、それぞれ就任いたしました。

代表取締役会長	徳間順一
取締役副会長	柳沢和介
代表取締役兼執行役員社長	徳間孝之

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援のほど、何卒よろしくご願ひ申し上げます。

平成21年6月26日

株式会社 ヨコオ
代表取締役兼執行役員社長 徳間孝之